

# トヨタは、トータルクリーンをめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みの一つひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。



## 地球への、人への負担を減らすために。

材料、部品、車両製造および走行、メンテナンス、廃棄の各段階で環境影響をトータルで評価するLCA(ライフサイクルアセスメント)\*2を実施しています。NOx、NMHCなどの大気汚染物質について、全ライフサイクルでの排出量を従来に比べ低減しています。

### 地球温暖化対策を実施しています。

- 温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載しています。さらにVVT-iEをはじめとする数々の先進技術を投入しています。
- エアコンの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンHFC-134aを採用しています。

### 環境負荷物質を削減しています。

- 鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

### 車室内の臭いや刺激臭を軽減しています。

- 内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、VOC\*3の発生量を抑制。厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

### 都市環境のクリーン化に配慮しています。

- 三元触媒、VVT-iE、空燃比補償装置などの採用により排出ガスのクリーン化を推進。全車とも「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。

### 積極的にリサイクルを行っています。

- リサイクル性に優れた素材TSOP\*4を積極的に採用しています。
- 解体性向上マークを大物部品に設定し、取り外し性の向上を図っています。

\*1.Eco-VAS[エコバス]:Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。 \*2. LCA:Life Cycle Assessment。資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を量定化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。 \*3. VOC:Volatile Organic Compounds \*4. TSOP:Toyota Super Olefin Polymer

## トヨタ ポルテ 環境仕様

車両仕様	車両型式	DBA-NSP141	DBA-NCP145
	型式	2NR-FKE	1NZ-FE
	エンジン 総排気量	L	1.496
	燃料		無鉛レギュラーガソリン
駆動装置	駆動方式	2WD(前輪駆動方式)	4WD(四輪駆動方式)
	変速機		CVT(自動無段変速機)
環境情報	JC08モード 燃料消費率	22.2 CO <sub>2</sub> 排出量 g/km	16.0 145
	参考	「平成32年度燃費基準※2」をクリアしています。	—
	主要燃費改善対策	可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、自動無段変速機、充電制御、ミラーサイクル、アイドリングストップ装置	可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、自動無段変速機、充電制御
	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)		SU-LEV※3※4
排出ガス	CO	1.15	
	NMHC	0.013	
	NOx	0.013	
車外騒音(加速/定常/近接)	dB	73/70/89	
	冷媒の種類(GWP値※5)/使用量	g	HFC-134a(1,430※6)/370
環境負荷物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下※7)
	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※8)
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)
車室内VOC	車室内VOC		自工会自主目標達成
	リサイクルしやすい 材料を使用した部品	TSOP TPO※9	バンパー、インストルメントパネル、カウルルーバー カーテンシールドエアバッグ
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり
	リサイクル材の使用	再生PETフェルト 再生綿フェルト リサイクルPP	ダッシュサイレンサー フロアカーペット、ドアトリム、デッキマット バッテリーケース

\*1 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 \*2 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 \*3 JC08モード走行。 \*4 平成17年基準排出ガス75%低減レベル。 \*5 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*6 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。 \*7 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 \*8 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューターメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。 \*9 TPO: Thermo Plastic Olefin